


令和3年度 研究サマリー

研究会名称	日本長期腹膜透析患者における排液中の各種マーカーと EPS との関連の縦断的評価研究	
代表者所属	東京慈恵会医科大学客員教授	
代表者氏名	川口良人	
研究方法・結果		
<p>目的：長期腹膜透析患者の排液中のサイトカインなどのマーカーを測定し、EPS との関連を明らかにすること</p> <p>方法：腹膜透析オーバーナイト後の排液中のサイトカインを ELISA にて測定を行い、経年的変化、EPS 発症症例における検討を行う</p> <p>結果と考察：IL-6 など PD 経年年数と緩やかな相関が認められているが、貯留時間が様々であるため、貯留時間を一定とした検討ができるかどうか、統計学的処理などの検討を行っている。</p>		